



宮古港は、南部 27 代藩主利直公が三陸沿岸を襲った慶長の天津波（1611 年）後に沿岸を巡行（1615 年）の折り、宮古に逗留して街の復興の指図とともに南部藩の沿岸の要衝として湊を位置づけ、その後、南部藩が御用船を持つなど湊の重要性を認識した事から（\*）、宮々と港づくりが続けられて来た。こうした中、南部藩の庇護のもと前川善兵衛に代表される多くの豪商が出現しては没落し幾多の多難のなか三陸沿岸の交易は栄枯盛衰を繰り返され、並行して盛岡藩と宮古の交易も閉伊川（宮古）街道を通じ、2 泊 3 日の苦難を乗り越えて続けられてきた。

このような時代、牧庵鞭牛和尚による閉伊川街道の開鑿が 1758 年頃から始められ、現在の国道 106 号の古道がつくられた。閉伊川街道といつの時代まで呼ばれたか定かではないが、昭和 27 年道路法制定までは、「府県道盛岡宮古港線」と呼ばれ、宮古から盛岡までの 30km 地点に、「府県道盛岡宮古港線 災害復旧工事記念」と銘名された記念碑が大岩の根元にひっそりと佇んでいる。（この事は、OBの花坂恭顕氏に教えを乞うた。）

宮古港の生い立ちから察し、藩政時代の先人をも含め、県都盛岡にとって宮古港の重要性を認識するに十分な銘と信服している。

話題は転じて、国道 340 号押角トンネル新里側の広場にはご存知の方も多いたと思いますが「九十九折る山路を越えて乗る馬の ゆきなずみつ日は暮れにけり」西塔幸子昭和 2 年の句碑が建立されている。碑の裏面には「ゆきなやむ 峠路にして日は暮れぬ 雲さへふり吾子泣きしきる」32 歳の教師である若妻が転勤で家族と共に雄鹿戸峠を越える様を謳ったものである。その峠に立ち、今なお整備が遅れているにも関わらず、さらに 80 年前はトンネルも無く日暮れを乳呑児を背負い、どう急げば良いのか。幸子は 36 歳で薄幸のまま世を去った。女啄木と言われし最期の地江繫には、川井村江繫公民館の一室を記念館として今に多くを伝えている。因みに幸子は、昭和初期から戦後に掛けての、岩手の農家の主婦の過酷なまでの日常を現し一躍脚光を浴びた「ものいわぬ農民」の著者大牟羅良の実姉である。（知る人ぞ知るですが・・・）

重茂半島線の山田町国道 45 号起点から約 5.5km 地点には「海まろくはろぼろとして無限の生気を放ち 山太古ながらに静まりて寂を生 此慮に新道一筋を拓きたり 地上ありとある景勝に通づるもの也」昭和 39 年山田町長佐藤善一と記された記念碑が建立されている。裏面には、県費補助事業、失業対策事業 s32～s37 2,162m、青森営林局 s38 1,696m、陸上自衛隊第 9 施設大隊 s38～s39 1,936m 合計 5,794m とあり、私が土木を勉強し社会に飛び立とうとした頃、この道は、大自然の中に大いなる生気を託して道づくりが行われていた。今もなお、淡々と半島を一週して雄大な自然とトドヶ崎灯台や月山に通じ、太平洋の荒海を眼下に地域の人々を結び豊かな生活を支える命の道路として静かに繋がっている。 \*：月刊みやこわが町 2005.9 p-14 より

3月  
主要行事

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三陸縦貫自動車「宮古道路」起工式                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期日 3月5日(日)</li> <li>● 時間 10時～11時</li> <li>● 場所 宮古市</li> <li>● 担当 道路建設課</li> </ul> </li> <li>● 四十四田ダム貯水池堆砂対策検討委員会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期日 3月6日(月)</li> <li>● 時間 13時～15時</li> <li>● 場所 メトロポリタン盛岡ニューウイング*</li> <li>● 担当 河川課</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土木合同セミナー                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期日 3月8日(水)</li> <li>● 時間 13時30分～16時45分</li> <li>● 場所 岩手県民会館中ホール</li> <li>● 担当 盛岡地方振興局土木部</li> </ul> </li> <li>● 「e-みちづくり隊プロジェクト」運営委員会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期日 3月9日(木)</li> <li>● 時間 15時～17時</li> <li>● 場所 北上市生涯学習センター</li> <li>● 担当 北上地方振興局土木部</li> </ul> </li> <li>● アテルイの里デザイン会議                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期日 3月10日(金)</li> <li>● 時間 13時30分～15時30分</li> <li>● 場所 翠明荘</li> <li>● 担当 水沢地方振興局土木部</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 盛川ヨシ焼き（大船渡市）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期日 3月5日(日)</li> <li>● 時間 8時～12時</li> <li>● 場所 盛川権現堂橋下流</li> <li>● 担当 大船渡地方振興局土木部</li> </ul> </li> <li>● 宮古・下閉伊地域森・川・海保全・創造協議会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期日 3月8日(水)</li> <li>● 時間 13時30分～15時</li> <li>● 場所 宮古合庁大会議室</li> <li>● 担当 岩泉土木事務所</li> </ul> </li> <li>● 盛岡駅南大橋線不來方橋開通記念式典                     <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期日 3月27日(月)</li> <li>● 時間 10時30分～12時</li> <li>● 場所 盛岡市大沢川原3丁目</li> <li>● 担当 盛岡地方振興局土木部</li> </ul> </li> </ul> |
|--|--|--|